

稲発酵粗飼料(稲WCS)の刈り取り・調製最盛期

稲WCS（ホールクroppサイレージ）は、子実を含む全ての未成熟な稲を刈り取り、ロール状に梱包した後、ラッピング調製してサイレージ化し、牛の飼料として利用されています。

府内では、平成 26 年度から JA が国・府の補助事業を活用して専用大型機械を導入し、飼料用稲を耕種農家が栽培し、畜産農家が刈り取り・調製を行う耕畜連携の取り組みを行っています。生産面積は平成 26 年の 53ha から平成 28 年には 100ha（見込み）と飛躍的に増加し、取り組みが広がっています。

当センターでは、発酵品質を良くするため農業改良普及センターと協力して糊熟期から黄熟期での刈り取りができるように、出穂期での落水を重点的に助言しています。

刈り取り作業は 8 月 10 日から 10 月上旬まで行われ、良質な稲WCS作りは耕畜連携を緊密にしていくものと期待しています。



稲WCSの刈り取りとロール(綾部市 8 月 25 日)